

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット
「職業を通じて広げる絆」
"Expanding Relations
Through Business"
2018-2019年度
東京臨海ロータリークラブ会長
本多 信雄



国際ロータリーテーマ 2018年10月17日【第1115回】
「インスピレーションになろう」
"BE THE INSPIRATION"
2018-2019年度
国際ロータリー会長
パリー・ラシン
創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 本 多 信 雄
副 会 長 : 佐 藤 正 樹
幹 事 : 佐 藤 大 輔
会報委員長 : 井 上 晴 貴

10月17日の卓話	10月3日の出席率	10月25日(木)の卓話
「装いの、イメージ戦略への効果的な取り入れ方」 パーソナルスタイリスト 霜島まき子様	会員在籍者数 37名 会員出席者数 22名 会員欠席者数 15名 本日の出席率 62.86% 前々回訂正出席率 78.38%	『移動例会』 会場：東武ホテルレバント東京 6階「クロワドール」

《第1114回例会報告 2018年10月3日》

司会：高橋会員

- 点鐘：本多会長
- 国歌斉唱「君が代」
：ソングリーダー 尾身会員
- ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RCVer. 唱和：佐藤正樹副会長
- 来賓紹介：本多会長
ゲストスピーカー 村田ますみ様
- ビジター紹介：高橋会員
本日はいらっしゃいませんでした。
- 10月のお祝い：親睦委員会 佐久間裕章委員長
- ・ 会員誕生日 坂本康朋会員、杉浦孝浩会員、篠塚慎之介会員
- ・ 奥様誕生日 齊藤実会員夫人、佐藤輝彦会員夫人、舛本俊輔会員夫人
- ・ 結婚記念日 小林健一郎会員、中村群一会員、小松啓祐会員、佐久間栄一会員、今井忠会員、齊藤実会員
- ・ 出席 100% 9年：佐藤大輔会員
- ・ 「誕生日の歌」：ソングリーダー：尾身会員
- ・ 1分間スピーチ：杉浦会員=4 回目のスピーチとなりました。今年の目標はダイエットです。達成したので、次は英会話にチャレンジしていきたいです。
- 会長報告：本多会長
- ・ 当クラブの創立 25 周年記念寄付に対し、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「創立記念特別寄付表彰楯」が届きました。
- ・ ロータリー財団より認証品が届きました。

- ・ 今井忠会員：MPHF（4回）（襟ピン・サファイア4粒）
- ・ 齊藤実会員：MPHF（3回）（襟ピン・サファイア3粒）
- ・ 佐藤正樹会員：PHF（認証状と襟ピン）
- ・ 東京江戸川中央 RC 創立 25 周年記念行事「クミコ・チャリティコンサート」（9月29日）出席報告。



■ 幹事報告：佐藤大輔幹事

- ・ 10月25日に開催されます東分区分区IMの懇親会では、「参加者全員で作るIM」を意識して頂く為に、アトラクションの後半で、グループ対抗歌合戦を行う

事になっております。当クラブは、「想い出の渚」です。会員皆様のメールボックスに歌詞をお入れしました。

- ・ロータリーの友 10月号は、先週、会員皆様のメールボックスに配布しました。ガバナー月信 10月号は、9月27日にメール転送致しました。
- ・10月の定例理事役員会を本日例会後、3階「菊の間」にて開催致します。

■委員会報告

- ・会報・IT委員会（井上委員長）

①マイロータリーの登録が最後までできていない方がいます。最後の詰めを個別にお伝えにあがります。またマイロータリーに登録したけれども、入り方を忘れてしまったという方もお声がけください。一緒に登録にあがります。

②25周年への思いの原稿を書いていたいただけると幸いです。

- ・国際奉仕委員会（酒井委員長）

第40回バギオ訪問交流の旅のご案内=2/8出発です。40回記念となります。三泊四日のプランを作りました。最後の日はチャリティーゴルフも考えています。

- ・ロータリー財団担当（入澤委員）=寄付有り難うございます。

①10月24日は、「世界ポリオデー」です。

②10月のロータリーレートは、9月と変わらず1ドル=112円です。

- ・米山奨学担当（司会者より代読）

①ロータリー米山記念奨学事業豆辞典を会員皆様のメールボックスに配布しました。

②公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 2017年度事業報告書が届きましたので回覧致します。

■出席状況報告：飯塚会員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコBOX報告：杉浦SAA委員長

(ご意向)村田様、本日の卓話、宜しくお願い致します。:本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、井上会員、飯塚会員、山田会員、須藤会員、入澤会員、齊藤会員、田村会員、尾身会員、栗山会員、高橋会員、杉浦会員、酒井会員、勝間田会員、大澤会員、地引会員、笹本会員

【19件 46,000円 累計641,241円】



■卓話（紹介者：井上会員）

「エンディング業界でおこっているパラダイムシフトについて」

(株)ハウスボートクラブ 代表取締役社長
一般社団法人日本海洋散骨協会 副代表理事
村田ますみ様

IT業界、花卉(かき)流通業界を経て、2007年株式会社ハウスボートクラブ設立。東京湾を中心に、パーティークルーズ事業と海洋散骨などのメモリアル事業を展開。2015年 都内初の終活コミュニティカフェ「ブルーオーシャンカフェ」をオープン。NHK「クローズアップ現代」「ワールド・ドキュメンタリー」「あさイチ」ほか多数メディアに出演

ライフエンディングをテーマに多方面で活躍中
<著書>

『お墓に入りたくない！散骨という選択』(2003年 朝日新聞出版)

『海へ還る～海洋散骨の手引き』(2018年 啓文社書房)またLGBTや6月より行政と連携し、総合事業「ご近所ミニデイ」と「こども食堂」や多世代交流ができる地域のコミュニティカフェまた地域の医療・介護に関わる専門職が顔のみえる関係をつくる「江東医介塾」も運営されております。

1東京湾パーティークルージング事業 2海洋散骨 3カフェ事業の三本柱で運営しています。

OLから転身。母の死で転機。お墓に入りたくないとの願いから、沖縄の伊江島の海に散骨してほしいとの願いで、かなえてあげました。そこから事業に繋げていこうと思い設立しました。今の船長と出会った日に散骨をしているという話で盛り上がり、事業展開しました。クルーザーは維持費が高いです。

パーティークルーズより、散骨のニーズが増えてきており、散骨がメインの柱となりました。ブルーオーシャンカフェは終活がテーマのお店で、都内初でクローズアップされました。終活の話はどこに聞けばよい？とわからないことがあるので、カフェでイベントを開いています。

エンディング業界は変わってきています。病院で死ぬ数は決まっており、超高齢で間に合わないで自宅や施設など病院以外で死ぬことが増えてきている。多死社会・孤死社会。おひとり様の増加。生涯未婚率も上がってきている(50歳になったときにまだ1回も結婚したことがない人の統計)社会課題はどうやって看取っていくか。ベストセラーの本「葬儀はいらない」が流行り、衝撃だった。葬儀は、一般葬、家族葬、一日葬、直葬(火葬のみ)

葬儀屋さんにはそんなに儲けがなく、様々な葬儀の形がある。東京の20%は直葬(5人に1人は葬儀やらない)アメリカは半分土葬、韓国は70%火葬、日本は100%火葬。これから先はお墓に入るが当たり前だった。今は海洋散骨、樹木葬、納骨堂=自動搬送式もある。カードをかざすと目の前にお墓が現れる。今年の海洋散骨を扱ったケースは400件超でした。お墓は家制度。あの人と同じ墓には入りたくない。自分の家の墓に入りたい。など墓離れが始まってきている。埋葬されて

いるお骨の整理＝墓終いが始まってきており、更地になるケースも増えてきている。墓守もいなくなってきたり深刻。終活のブームは「金子哲雄」ベストセラーだった。終活の流行語。終活は「人生のエンディングを考えることを通じて自分を見つめ今をよりよく、自分らしく生きる活動」

終活に必要な三要素 知識（遺留分とはどんなことば？） コミュニケーション（あなたの散骨は自分ではできませんから、家族のお手伝いが必要ですが話し合っていますか？） 死生観（宗教や哲学 様々考えることで深みが出る） ライフエンディングを広めて皆で考えていければよい。死を体験するワークショップ。棺に入って蓋を閉めて三分間お経を聞く体験など様々あります。体験してみてください。

■点鐘：本多会長

東京臨海ロータリークラブ 25 周年への思い

25 周年に向けての思いや思い出 井上晴貴会員

東京臨海ロータリークラブに入会させていただき、丸三年たち、四年目の開始となりました。様々学習させていただき、大分落ち着いた思考回路となったことは間違いございません。25 年の周年行事にも参加させていただき、初体験がまた増えました。今年は週報の担当をさせて頂き、様々なロータリーの学習をしております。よき先輩ロータリアンになれるよう修業です。今年は様々な行事も体験していき、運営や趣旨、人の流れと役割など様々観察できれば良いと思います。先ずは隗より始めよということで、自ら様々な事にチャレンジをして、かみ砕き理解し、自分のものにできればよいと思います。週報担当になっていなければ、まだ楽観視してお気楽にロータリー生活をしていたかもしれません。今では週報を心から楽しみ、愛しております。褒めていただけることも嬉しく思います。これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。

ロータリーをもっと知ろう



公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会

ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

ロータリー米山記念奨学会とは？（ネット抜粋）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。

今回のロータリーをもっと知ろうのコーナーは、米山です。法人の個別ページがありました。学習していきましょう。

目的

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

民間最大の奨学事業

年間の奨学生採用数は 780 人（枠）、事業費は 13 億円（2016-17 年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で 19,808 人（2017 年 7 月現在）。その出身国は、世界 125 の国と地域に及びます。

世話クラブとは？

日本には約 2,300 のロータリークラブがあります。そのうち 1 つのクラブが、1 人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

寄付金について

ロータリー米山記念奨学事業は、皆さまのご寄付によって支えられています。日本の文化、日本人の心を世界各国からの留学生へ伝え、世界の平和と発展に貢献するこの事業に、ぜひ、手を貸してください。ロータリー米山記念奨学会は「特定公益増進法人」に認定されているため、当会への寄付は、**税制上の優遇措置を受けられます。**

ご注意ください

個人からの寄付金と法人からの寄付金は、別々に管理されます。法人として寄付される場合は、必ず法人名で明細をお知らせください。

表彰制度について

個人、法人、クラブについての表彰制度があります。金額によって表彰内容が違います。

当クラブ例会変更のお知らせ

次週例会は、東分区分ターシティ・ミーティング（IM）開催の為、例会日を 10 月 25 日（木）に変更しております。10 月 24 日（水）は例会はありません。

10 月 25 日（木）の予定

◆東京臨海ロータリークラブ例会
例会時間 12:30～13:30
例会場 東武ホテルレバント東京
6階「クロワドル」

◆東分区分ターシティ・ミーティング（IM）
登録開始 13:30
本会議 14:00～17:50
懇親会 18:15～20:00
会場 東武ホテルレバント東京 4階「錦」

原稿投稿のお願い

会報「東京臨海RC25周年への思い」のコーナーへ 300文字程度で原稿の投稿お願い致します。